

平成 23 年 8 月 22 日

受益者の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

欧米市場の下落と「T & Dワールドコモディティ株投資1106 (限定通貨選択 - 米州大陸通貨 -)」への影響について

足許の市場動向

8月18日の米株式市場は、投資家のリスク回避の動きからパニック的に売りがかさむ展開で、ニューヨークダウ工業株30種平均指数は10,990.58(-419.63)米ドル、ナスダック総合指数は2,380.43(-131.05)ポイントと共に大幅下落となりました。

独仏首脳会談を経ても欧州債務問題や投機筋対策に新たな進展が見られず、各国の足並みも揃わない中、米当局による欧州銀行子会社の資金繰り調査のニュースや米新規失業保険週間申請件数が市場予想の40万件を上回ったことを受け、株式市場は売りが先行しました。更に、8月のフィラデルフィア連銀指数が市場予想を下回って過去の景気後退期の水準まで大幅に悪化すると、株価の下げは加速しました。午後に入ると、「ヒューレットパッカーが、取引終了後の決算発表時にPC部門の分離・独立、及び英ソフトウェア会社の買収」との観測が浮上し、株式市場も下げ幅を縮めたものの長続きせず、その後、再度売り圧力に押され始めました。

原油先物は82.38(-5.20)米ドルと大幅下落で終了しました。一方、金先物は1,822.00米ドル/トロイオンスと再び史上最高値を更新しました。

今後の見通し

世界の株式市場は、マクロ指標の鈍化を背景とした景気減速懸念や、欧州の銀行に対する資金繰り懸念などを背景に足許で不透明感が急速に高まっております。このような環境の中、原油先物価格や主要商品先物指数に加え、景気敏感株などが大幅下落する展開となりました。とりわけ、モンサント、ディアール、モザイクなどの農業関連銘柄は、当ファンドでの保有上位銘柄であった為、マイナスのインパクトが大きく出る結果となりました。また、ハリバートンは、保有上位ではありませんが、株価の下落幅が大きかった為、マイナス寄与上位銘柄となりました。

今後の見通しとしては、短期的には、投資家センチメントの悪化を受けた、リスク・オフの動きを背景に株式を含めたリスク資産の不透明な展開を予想しております。その一方で、中期的には、商品の需給逼迫を背景とした、価格の上昇をメインシナリオとしていることに変わりはなく、関連株価の上昇を予想しております。

以上

当社ファンドへの影響

ファンド名	平成 23 年 8 月 18 日 基準価額 (円)	平成 23 年 8 月 19 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T & Dワールドコモディティ株投資1106 (限定通貨選択 - 米州大陸通貨 -)	8,694	8,171	523	6.02

市況情報

(小数点第 2 位以下四捨五入)

	平成 23 年 8 月 17 日	平成 23 年 8 月 18 日	騰落率 (%)
S & P G S C I コモディティ インデックス (エクセスリターン)	482.45	466.58	3.29

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、8月17日から8月18日としています。

	平成 23 年 8 月 18 日	平成 23 年 8 月 19 日	騰落率 (%)
カナダドル(*1)	78.12	77.57	0.70
メキシコペソ(*2)	6.30	6.26	0.63
ブラジルレアル(*3)	48.02	47.74	0.59

(*1) 為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値(TTM)

(*2) 為替レートはゴールドマンサックス証券の対顧客公示相場の仲値

(*3) ブラジルレアルの為替レートは、前NY営業日のNY16:00 頃のNDFレート(レアル/米ドル)と当日のTTM(米ドル/円)とのクロスレートを表示しています。

出所: ブルームバーグ

文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外株式市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

ご留意いただきたい事項

- ◆ 本資料は受益者の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載した情報は、当資料作成時点におけるものであり、将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません。
- ◆ 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- ◆ 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。
- ◆ 運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。